（株）第一興商　第 37 回番組審議会議事録

○日　時　　2023 年 3 月 22 日（水）16：00～17：30
○場　所　　（株）第一興商本社　3Ｆ会議室
○第一興商報告
　◇2022 年度　第一興商トピックス
　◇スターデジオトピックス
○番組審議
　◇スターデジオ『Ch.483 カフェミュージック』
　　・番組説明（放送楽曲、ターゲットや編成意図について）
　　・番組審議
○次期チャンネル改編について議論
　　・候補チャンネル案の説明、議論

番組審議会委員・出席一覧（敬称略）　13 名出席
　《出席者》
　　弦 哲也　　作曲家　日本作曲家協会会長　（審議会委員長）
　　音 好宏　　上智大学教授
　　湯川 れい子　　作詞家/音楽評論家
　　ボブ 佐久間　　作曲家/編曲家/指揮者
　　伊藤 薫　　作詞家/作曲家
　　渡辺 俊幸　　作曲家/編曲家/音楽プロデューサー
　　日本作編曲家協会副理事長
（株）第一興商・出席者一覧
　　保志 忠郊　　代表取締役社長
　　渡邊 泰人　　常務執行役員 エンターテインメント事業本部長
　　大山 健　　エンターテインメント事業本部副本部長
　エンターテインメント事業本部　BGM メディア推進部
　　渡辺 宏　　BGM メディア推進部 部長
　　八巻 任　　BGM メディア推進部 次長
　　吉倉 聡　　放送制作課 課長
　　磯部 智子　　企画運営課　チーフ　（書記）

1. 第一興商報告

◇2022 年度　第一興商トピックス

・グループ企業新メッセージ「Singing」について

・カラオケ事業展開

・エルダー事業展開

・店舗事業展開

◇スターデジオトピックス

・BGM 契約状況

・編成方針について

2. 番組審議

＜番組説明＞

□スターデジオ Ch.483『カフェミュージック』について

【コンセプト】

カフェやダイニングバー、レストランなどお客様が飲食や会話を楽しむ空間や、作業に集中できるよう心地良いリラックス空間を意図した音楽編成

【番組構成】

・毎週月曜更新の 3 時間パック（約 60 曲）

※1 日に 8 回リピート放送　（シャッフル無し）

○局側説明：

カフェミュージックのチャンネルコンセプトは、カフェやダイニングバー、レストランなど、飲食や会話を楽しむ空間と、リラックスした心地良い雰囲気をイメージして選曲、作業などに集中しやすくなる環境作りの一助となればと思っております。

また、時代ごとに変化する曲作りやアレンジ、楽曲の持つ時代背景や世界観をさりげなく感じることができる選曲を目指しています。

長年にわたり愛され続けているオリジナル作品はもとより、カヴァー作品なども交えて紹介しています。

具体的な曲名を知らなくても、気軽に聴いて過ごせる、ほっと一息できるようなリラックスした気分で楽しめるのがこの番組の魅力だと思います。引き続き利用店舗の環境作りの手助けになるようにこころがけたいと思います。

番組審議のほどよろしくお願いいたします。

◎審議委員：

ジャズ、フュージョン、ボサノヴァ、洋楽、60 年代から現代までということで、色々なものを取り入れてリラックスできる、安心して聴けるチャンネルいうことでお選びにな

ったということですが、本当にびっくりいたしました。1 曲目 CYRILLE AIMEE はフランスの方、2 曲目の AL DI MEOLA はジャズ界で有名なギタリスト、3 曲目 SIMONE KOPMAJER はオーストリアの方（私は全く存じ上げませんでした）、4 曲目 CLEMENTINE はかなり有名な方でポップな方、その次に日本人の方が出てきます。小林香織さん、有名な方でマルチミュージシャンです。その次、これは本当にびっくりしたのですけれど、平田王子さんはブラジルを拠点として活動されていて、渋谷毅さんは 80 歳を過ぎておられて、大変なコンビネーションで、どこから探してこられたのかと思って大変びっくりいたしました。その後の小野リサさんはよくご存じな方で、VIKKI CARR もすごく古い方で、大洋ミュージックでしたよね。それくらい古い方ですが、素晴らしい方でした。

THE 5TH DIMENSION は皆様よくご存じで、フォークの世界で日本でも活躍をしましたけれども、その後に SERGIO MENDES＆BRASIL'66 の WITH A LITTLE HELP FROM MY FRIENDS は、SERGIO MENDES と言われなければ分からない方もたくさんいらっしゃると思いますが、名曲です。ということで何を言いたいかと申しますと、ひたすら耳心地の良い曲をよくここまで残してくれたなと、立派に選曲されたと思います。どのくらい時間をかけて、どのように音を作り上げて選ばれたのか分かりませんが、何の文句もございません。カフェミュージックとしても素晴らしいと思いました。びっくりいたしました。

◎審議委員：

カフェミュージックというのは漠然とした言葉で、おいしいものを食べている時など、色々シチュエーションはあるかと思います。気づいたこととしましては、映画音楽があまり選曲されていないなと思いました。インストゥルメンタルでほっとするのは映画音楽ではないかと思います。BGM を選曲するにあたり、何かルールがあるのかなと、ふと疑問に感じました。そのようなことに束縛されているのであれば、ちょっと悲しいなと思います。

例えば 16 曲目 UN HOMME ET UNE FEMME(A MAN AND A WOMAN) ［男と女］ / 小野リサはボサノヴァアレンジになりますが、原曲はかけられないのでしょうか。この原曲、いかに優れているか。原曲には敵わないかなと思います。

アコーディオンの音色が衝撃的で、当時真面目にクラシックを聴く学生だったのですけれども、こちらの曲を聴いて人生が変わりました。それぐらい衝撃的でした。

原曲がいかに大切であって、もちろんアレンジされた楽曲ももっと大切なのですけれども、打ち込み入れながら作られてしまうと原曲を知っている人間にとってもはショックです。原曲の美しい映画音楽がどこかで綺麗に流れていたら、そこにじっといますよ。ひたすら飲んで。ジャンルや歌手など、もう少し配分していただけると非常に喜ばしいことでございます。

◎審議委員：

無限にある楽曲から、よくまぁこの主力の楽曲を選ばれたなと本当にリスペクトしますね。家で聞きながら、本当にコーヒーを飲みたくなってしまうぐらいの、家の空間が変わったような印象を受けました。実際 4 曲目あたりからコーヒーを飲み始めました。スターバックスもよく行くのですが、資料をいただいてから居酒屋から薬局まで色々なお店に行くと、BGM が非常に気になってしまいましたね。

◎審議委員：

並べられている楽曲だと、知る人ぞ知る楽曲のそのまたカヴァーという 2 段で楽曲を掘り起こしているという、おそらくシングルカットされていないような楽曲を選ばれて、前半は何の曲か分からず、サビで楽曲に気づいてテンポも違うし全然違うな、など。

一般の方はこのような聴き方はされないと思うのですけれども、非常に心地よく時間を過ごせたように思います。

この選曲の流れを見て気づいたことは、23 曲中インストか女性ヴォーカルの曲なのですね。男性は一人ぐらいしかいなかったかな。女性の方が聴きやすいのですかね。耳心地がいいのかなというのもあるのですか。

〇局側回答：

今回お送りした楽曲資料は 23 曲になりますが、他 40 曲で 1 プログラムになります。そちらの方に男性ヴォーカル曲も選曲されております。バランスよく選曲し、先生よりいただいたご意見を今後に役立てていきたいと思います。

◎審議委員：

女性でもずっと心地がよいので、それにインストが入って昔の曲が入って、ボサノヴァが入って、良い感じの男性の声が入ってもよいですね。男性曲って確かにそういわれてみると、ここのところ聴いていないので、逆に新しい男性ヴォーカルの楽曲も聴いてみたいなと思います。

◎審議委員：

最近男性ヴォーカルってあまり聴かないですね。女性は頻繁に聴きますけど、シナトラ以来聴いていないように思います。

◎審議委員：

これに類するか分からないですが、AOR の時代は男性ヴォーカルもいて喜んで聴いていた時代もあったのですけど、その後もう皆無という。

◎審議委員：
世の中ノリが主体になってきましたよね。いわゆるリズム、ダンスが主体になっていて、甘く囁くように歌う男性の曲が本当に少なくなっています。

◎審議委員：
このくらいのリズムの楽曲だと、つたない英語力でもなんとか何を言っているかが分かったり、イメージが伝わってきたりしましたけれども、そういう意味ではこういう楽曲を選んでくださって、聴きながら思いました。

◎審議委員：
これ大変だったと思いますよ。

◎審議委員：
そうですよね。これは私も素晴らしいとしか言いようがなかったのですけれども、強いて言えばとか敢えて言えばというところも、この流れの中ではあまりないような気がして、とても素晴らしいと思いました。今後とも頑張ってください。

◎審議委員：
私はこのカフェミュージックというコンセプトのチャンネルで捉えている音楽というのは、個人的には非常に好きな音楽です。
自分がリラックスしたいなと思う時に、Spotify などでこのような楽曲が集まっているものを探したりして聴くくらいなので、そういう思いを込めて聴いていますと、全く知らないような楽曲でもこんなに良い曲があったのかというような楽曲がたくさんあって、どうやってこのような楽曲を選んでいるのだろうかという事に非常に興味を持ちました。
全体としては非常にこのコンセプトに合った楽曲が揃っているなという印象です。
話を伺って、例えば男性の楽曲ということになりますと、ボサノヴァでいいますと、CARLOS JOBIM が入ってくると、気持ちいいなと思います。映画音楽的なものも入れば、それはそれでもしかしたら良いかもしれないけど、コンセプト的には軽いリズムが入っているということが、きっとあるのではないかと思ったりもします。
そうするとボサノヴァというスタイルの中で、CARLOS JOBIM が歌っていて、後ろにストリングスが入っているという楽曲は、結局古い音楽しかないですよね。現代は、ストリングスはそもそも録音で使うということすらできない時代になっていまして。
予算をかけられないのです。ですから、なかなかそういうゴージャスな心地の良い音楽を作るのが難しい時代になっていて、最近は打ち込み中心ですよね。ですからやはり古い曲から探すしかないかもしれませんが、SERGIO MENDES が入っているということからいうと、CARLOS JOBIM なんかも当然入ってきてよいし、CLAUS OGEMANN というアーティストで、弦でアレンジしているいいアルバムがありまして、そのような音

源も気持ちよいと思いますし、KENNY LARKIN なんていう人もとってもコンセプトに合っていると思います。初期のアルバムも、ボサノヴァタッチで、ギターを弾きながら歌う方ですけれども、やはり良いストリングスがついてきて、リズムもあるっていう、気持ちの良い音楽だと思います。
それから、お話を聞いていてふと思ったのが、クラシカルという所から、例えば「ジムノペティ」は、かなりポップ寄りで、誰が聴いてもすぐ覚えられる、耳馴染みの良い曲というのがクラシックの楽曲でもあります。お洒落にアレンジしたものだったりちょっとリズムも入ったりして、本当は原曲の方がよいとおっしゃるかもしれないのですけれども、こちらのコンセプトから言うと本当にお洒落にアレンジしていて、演奏自体もレベルが高いなと思います。

◎審議委員：
好きなので色々聴いている中で、当てはまりそうなものから言いますと、クラシックをうまく編曲している意味では DAVE GRUSIN＆LEE RITENOUR が二人で作ったアルバムがあるのですが、非常にハイセンスでクラシックを使っていて、ジャズというかフュージョン的ですね。ですから、このような曲は聴いたことないよ、でもお洒落だな、となると、いいなってなるかなと思います。
曲を聴いてみて、個人的な印象ですけど、例えば 2 曲目　IN MY LIFE/AL DI MEOLA に関して、リラックスするという観点からいうと、やや知的すぎるという感じがしましたね。私が聴いていると、頭が働きだしてしまうのですよ。
AL DI MEOLA って、すごく超絶技巧のギタリストなので、どうしても知的に感じます。音楽自体は確かにフュージョン寄りではあるけど、楽曲自体は高度に構築されているので、私が聴いてしまうと分析したくなってしまい、リラックスできなくなってしまいました。もう少し LEE RITENOUR がやっている感じのほわーんとしたフュージョン系の音楽の方が、いいのではと思いました。
5 曲目 KYLE / 小林香織さんの楽曲はいいと思いますけど、この楽曲に関していうと冒頭部分のテンポがちょっと速い。エネルギーが少しあって、リラックスしている中で途切れてしまうことがあるかなと。細かい事を申しますと、もうちょっと元気がありすぎない、メロウな感じがよいかなと。いただいた資料で、テンポについてスロー～ミディアムとなっておりますので、冒頭については越えているように感じます。
15 曲目 THE SYNCOPATED CLOCK / GONTITI は悪くないですが、やや悲しい印象。ちょっと内省的になりすぎる感じがしました。細かいことをいうとそんな感じですが、19 曲目の THE 5TH DIMENSION が流れているのはうれしかったですね。
こういうところまで掘り下げて楽曲が流れていくと、知らなかった方々が、この曲何だろうなと調べたりして、この時代すぐ調べることができますからね。ここまで広げられているのはすごいなと思いました。

◎審議委員：

設定自体が、知っているようで知らないようで邪魔にならないというところがポイントだろうなと思いました。とても研究されていらっしゃるなと思います。非常に良いチャンネルだなと思います。

【総評】

各委員の皆様には、専門的な奥深い分析をしていただいた。

このチャンネルの利用ターゲットである、カフェ、バーなどは、お客様の滞在期間を長くすることによって、飲み物、おつまみ、ビールなどのオーダーも増え、音楽が耳に入ってきながらお酒、おつまみがあったら、一人、あるいは友達がいても、2、3 時間いても退屈しないなと。非常にコンセプトに合ったチャンネル、そして選曲だなと感じがいたしました。非常にけっこうだと思います。

□次期改編候補チャンネルについて

チャンネルコンセプトと候補楽曲ラインナップとの適合性についてご意見を頂戴した。

◎局側（閉会の挨拶）

本日はお忙しい中ご足労いただきましてありがとうございました。また、活発なご意見を聞かせていただいて、私も、あぁなるほど、と気がつくことがあったので、やはり近くで接して、お話をするっていうことが大切だということにつくづく感じさせていただきました。

本日はありがとうございました。